



# 城南坂

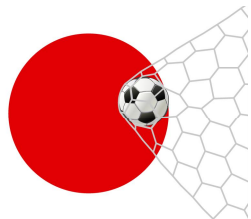
校長だより No.11  
R8. 6. 10(水)  
校長：佐々木雄治

学校教育目標 「志と誇りを持ち 主体的に行動する生徒の育成」

## 「基本の徹底」と「挑戦の継続」

ここ2～3日は天候があまりよくなく、気温は低めの推移ですが、週末にかけてまた暑さが戻ってくる予報となっていますので、健康管理に十分気を配ってほしいと思います。さて、中総体強化期間の第2週目に入りました。校内では勝利を目指し最後の追い込みに励む運動部、大会へ向かう雰囲気盛り上げようと熱心に練習する応援団、そして月末にコンクールを控え、演奏曲練習と応援練習の二刀流でがんばっている吹奏楽部など、それぞれの立場でやるべきことに精一杯取り組んでいる生徒の様子が見られます。10日後の市中総体、そして17日後の吹奏楽コンクール中央地区大会で、城南中生一人一人が輝く姿を期待しています。

そんな中、市中総体より少し前のこのタイミングで、FIFAサッカーワールドカップ北中米大会が明日からスタートし、日本代表チームの初戦は15日(月)に強豪オランダとの対戦となります。前回大会で同じくヨーロッパの強豪であるドイツやスペインに競り勝ち、世界各国から注目を浴びる存在となった日本。今回代表入りを果たした選手の多くは、海外に活動拠点をおいて、世界の猛者たちを相手に日々腕を磨いており、そんな日本代表が再び世界の舞台で躍動する姿を見られることを、今か今かと心待ちにしているところです。今日はこの日本代表を8年もの間率いている森保一監督の指導者としての考え方について、私が感銘を受けていることを2つ紹介したいと思います。



<「illust image」より>

1つ目は、森保監督が就任以来選手に求め続けている「**基本を徹底する**」ということですが。その基本とは「**個人の責任**」と「**チームワーク**」を連携することであり、まず「**個人の責任**」として、選手一人一人が持てる力を

100%発揮し、その個々の100%を連携・連動させることでチーム力を高める、そのためにチームワークが重要であると森保監督は述べています。今回、代表メンバーに選出されたプレーヤーは、先述の通り世界に認められるような優れた力を有する選手たちばかりです。その個々の優れた力が掛け合わさることで、さらに日本代表チームは強くなるという信念だと思います。これは**城南生徒憲章、協力の2番目にある「主体的に行動し、仲間との絆を深めよう」**にも通じています。つまり森保監督の示す「**基本を徹底する**」とは、「**個々の協力がチームを強力にする**」ことと考えられます。

2つ目は「**失敗を恐れずに挑戦し続けること**」です。レベルアップしようとする途中では、挑戦していることがうまくいかないことやミスすることがあるかもしれない、しかしそうしたことを覚悟した上でしっかりと挑戦を続けることが大切であり、**困難を乗り越えるためには「謙虚さ」と「粘り強さ」が重要である**という考え方です。森保監督は、自身が日本代表選手としてワールドカップ予選に参加した際、試合終了間際に相手にゴールを許し、本大会への出場を阻まれた、いわゆる「ドーハの悲劇」を経験しています。こうした大きな挫折を経験しながらも、次なる挑戦をし続けてきたことが、監督になってから無敵艦隊スペイン代表に逆転勝利を収める、いわゆる「ドーハの歓喜」につながりました。**城南生徒憲章、健康の1つ目「何事にも前向きな気持ちで挑戦する心を育もう」**に加え、それを粘り強く謙虚な気持ちで継続していくこと、つまり**挑戦の継続が成長につながる**ことを、森保監督自身のサッカー人生そのものからも感じ取ることができます。

みなさんも自分自身が思い描く理想の結果を目指し「**基本の徹底**」と「**挑戦の継続**」を大切にしてください。